

# スポーツを通して、地域とのふれあいを楽しむ

白鳥在住 清野 宣夫さん (67歳)

体力づくり推進委員や町民レガッタの公式練習の指導など、地域スポーツの振興に携わる清野さん。

今回は、清野さんに活動への想いやその原動力などのお話を伺いました。



学区オリジナルポロシャツを着る清野さん

## 自分たちで考え、活動をしたい

清野さんは32年間、高嶺小学校区の体力づくり推進委員として活躍されています。体力づくり推進委員は、スポーツ推進委員と協力し、地域スポーツの推進に努めています。毎月第3日曜日の「家族体力づくりの日」

には、ビーチボールやファミリーバドミントンなどのスポーツを行っており、地域の皆さんが気軽にスポーツを楽しめるよう学区の委員と定期的に意見交換をして種目の選定をするなど、ニーズにあったスポーツイベントを企画し、参加者とのふれあいを楽しみながら活動されているそうです。

## 地域のふれあいの場「ミニスポフェスティバル」

毎年10月には、「高嶺学区ミニスポフェスティバル」を開催しています（今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。これは以前、町が開催していた東郷町民体育大会がなくなった際、「地域の人たちが親しい仲になっていたのに、ここで途切れてしまうのはとても残念。自分たちで何かしよう」と、学区のスポーツ推進委員と体力づくり推進委員が一から企画して始めたもので、清野さんは初回の企画から参加し、現在も運営に携わっています。

第1回目は周知があまりできなかったにも関わらず、350人も参加者が集まり、「思っていたよりも多くの参加者が集まり驚いた」と

当時を振り返ります。用意していた景品が足りなくなり、パン食い競争のパンはその場であわててお菓子で代用するなど臨機応変に対応し、事なきを得たというエピソードを紹介してくれました。

昨年行った参加者アンケートでは、98%以上の方が「来年も参加したい」と回答しているなど、今では毎年恒例の人気イベントとなっています。



## 人とのふれあいが活動の原動力

清野さんは「人とのふれあいが好き。これが私の原動力となっている」と話します。初めて見かけた人でも積極的に話しかけているとのこと。

イベントの企画や運営では地域のふれあいを大切にしているため、「高嶺学区ミニスポフェスティバルでプログラムを考える時は、順位を競うようなものでなく、参加者同士がふれあえるようなものになっています」

と微笑みます。また、東郷町民レガッタの公式練習の指導も毎年行っていますが、明るくフレンドリーな人柄などから、練習参加者から「講師は清野さんにしてほしい」と声上がるほどの人気講師だそうです。

## これからも全力で取り組む

最後に、これからの目標について伺うと「これからも地域の皆さんのために、全ての活動に目一杯取り組みたい」と意気込みます。皆さんも清野さんと一緒に、地域のスポーツイベントで、ふれあいの輪に参加してみませんか。



町民レガッタに出場。昨年は優勝しました。